

みんなで色々なスポーツ、遊びをやってみよう！

第13回

横浜チャレンジスポーツ！

テーマ

好きと出会おう！
応援し合おう！

2022.1.8

+オンライン

会場 横浜武道館 アリーナ

第13回 横浜チャレンジスポーツ！ 会場+オンライン 参加無料 予約制

日時：2022年 1月8日（土） 会場：横浜市 横浜武道館 アリーナ

主催：NPO-BLACKSOX 共催：横浜市テニス協会

後援：横浜市市民局 横浜市教育委員会 横浜市スポーツ協会

ノエビアグリーン財団 2020年度助成事業

2022年1月8日 横浜チャレンジスポーツ！ 会場プログラム+オンライン

0900-1700		プログラム	オンライン配信
0900		サポーター・スタッフ研修・打ち合わせ	
1010		参加者受け付け開始	
1030	1230	1 2 3 会場プログラム	会場を応援
	昼休憩	デモンストレーション 観覧席で食事しながら観戦	観戦・応援
1330	1530	2 学生ボランティアと一緒にパラスポーツ体験	会場を応援
	~1630	サポーター・スタッフ機材撤収・振り返り会	

【会場プログラム】

- 1 選手、団体の紹介・ブース案内 受付方法など (約 10 分)
- 2 体験ブース 各種目を自由に何回でも 各種目 1 回 3~5 分目安
- 3 かけっこ！ or リレー！ 選手とみんなで (約 10 分)

【2 体験ブース】 9 種 自由に回遊

サッカー エアスタジアム Wild court (ドンドン動こう) & Gentle court (優しく蹴ろう) / ボッチャ
 電動車椅子サッカー / ブラインドサッカー / 指伝話 (発話の難しい子ども達の ICT 支援機器)
 ダンス / セイバースピン / チャレンジテニス！ / 風船バレー！ / オンライン配信

【デモンストレーション】 パラリンピック選手 秦さん「好きなことを探そう！」
 YSCC 横浜 VS トラッソス (知的障がい児サッカーチーム) / ダンス FUNSTAR

【オンライン配信】 会場の様子を見てみよう！「次は会場へ」

【スタンプラリー！！！！】 入場とともにスタンプラリー台紙を配布。

「各ブースを回ると色々なシールを貼ってもらえます！ たくさんチャレンジしてみましょう！」

【参加選手、チーム】・秦由加子 (パラトライアスロン選手)・斎藤ゆきえ (セイバースピン)・横浜ボッチャ協会
 ・トラッソス (知的障がい児サッカー)・横浜クラッカーズ (電動車椅子サッカー)・FUNSTAR (ダンスチーム)
 ・ブエンカンビオ横浜 (ブラインドサッカー)・YSCC 横浜 (フットサル)
 ・ニッパツ横浜 FC シーガルズ (女子サッカー)・NPO-BLACKSOX

【学生ボランティアサポーター】「スポーツ、ボランティア経験無し大歓迎！大事なコトを研修で伝えます」

【感染症対策概要】

- ・イベント 2 週間前までのチェックシート確認、提出した人が参加のみ入室、参加可能
- 「やる：スポーツ体験」は呼吸のことも考慮し「マスク無し可」
- 「見る：観戦」は基本的に「要マスク」 マスクのできない障がい児への配慮有り

【参加者数】 障がい児 33 名 健常児 43 名 (学生ボランティアサポーター 30 名含む)

障がい者 (大人) 10 名 大人・保護者・介護者・スタッフ 99 名 計 185 名

オンライン配信 視聴参加者 228 人 (延べ人数・重複有り)

【開催を終えて】

「僕たちの1年と子ども達の1年の価値は違う」との思いから、コロナ禍でも安心安全に開催できるように、そして会場参加者とオンライン参加の感染症対策、病児の子ども達が共に楽しめるように、運営スタッフの募集・研修、オンライン含むプログラム、感染症対策の検討を重ねて準備を進めてきました。

開催当日は、アスリート、体験ブース運営スタッフ及び横浜市内中学校・高等学校のボランティア、その他社会人ボランティア、施設の方々の協力を得て無事に全てのプログラムを終えることができました。

来場した子ども達からは、喜びのアイコンタクトやハンドサインと共に「サッカーうまくなってきたよ」「風船バレー！楽しかったよ」「かけっこがんばったよ」「テニスおもしろかったよ」、保護者からは「体を動かす外出の機会を待っていた」「子供の顔が生き生きしていた」「ママ友と会えた」、プロサッカー選手の試合では子ども達からの「赤勝て！青勝て！（応援）」学生ボランティアからは「自分達に必要な経験」などの声が聞かれました。参加者の表情やこれらの声によって、子ども達にはこのような機会が必要であり、期待もされていると改めて認識することができました。

私たちは、引き続き、子ども達のチャレンジ！する気持ち・相手を想う心・心身の健康・社会参加・コミュニケーション能力の向上・QOL向上などを育む機会の創出に努めてまいります。



2022年1月8日 横浜チャレンジスポーツ！



【チャレンジスポーツ！】 子ども達、地域社会の心と身体を動かすチャレンジ！による
楽しい！出来た！くやしい！伝わった！役に立った！をみんなで感じる場を創り、
達成感・自己肯定感・有用感を高め、
チャレンジ！する気持ち・相手を想う心・心身の健康・社会参加・QOL 向上などを育みます。



【重度障がい児】

どんな障がいでも大丈夫！
みんなでやってみよう！



【軽度障がい児・健常児】

一緒にスポーツをしてみよう！
お手伝いもしてみよう！



【学生サポーター】

未経験者大歓迎！
当日研修で「コツ」を伝えます

エアスタジアム（優しく蹴ろう！）



エアスタジアム（ドンドン動こう！）



ボッチャ



電動車椅子サッカー



ダンス



セイバースピン (ライトセーバーを用いた演舞型の剣術)



指伝話 (発話の難しい子ども達の ICT 支援機器)



ブラインドサッカー



かけっこ！



風船バレー！



チャレンジテニス！



オンライン配信 会場から在宅、病院の子ども達へ「待ってるよ！」



「好きなことを探そう！」 秦 由加子選手（パラトライアスロン選手）



【デモンストレーション】 YSCC 横浜 VS トラッソス（知的障がい児サッカーチーム） / ダンス FUNSTAR



【参加選手、チーム】 ・横浜 FC（サッカー）・YSCC 横浜（フットサル）



【学生ボランティアサポーター】 スポーツ、ボランティア経験無し大歓迎！大事なコツを当日研修で伝えます



子ども達、学生サポーターを支えます BLACKSOX チーム【スポーツコミュニティ】スタッフ研修・募集





チャレンジスポーツ！ オンライン ICT プログラム

オンラインで、会場で、ICTで、遊んでみましょう！ 応援し合いましょう！ 対戦しましょう！

「一緒に遊ぼう！」という【未来】をみんなで造りましょう！

みんなで遊び、スポーツをやりながらオンライン、ICTを使ってみましょう。

オンライン参加、ICT、PC、アプリ、電動車椅子の操作などを覚えて

コミュニケーション、就労、自由な移動、スポーツ！など色々なことにチャレンジしてみましょう！

1 どんなのことが出来る？ どうやればいいのか？

どんな障がいでも、サポート初心者でも「楽しい！」「出来る！」「やりたい！」

参加を検討している障がい児、病児、サポーター志望者が、会場に来る前に様子を見ていただけます。

- ・誰でも「楽しい！」「出来る！」今までのチャレンジスポーツ！プログラム動画をみんなで見てみましょう。
- ・サポーター向け「スポーツ経験無し」「初心者歓迎」マニュアルを説明、やってみましょう。見てみましょう。



2 小さな動き 得意な動きでスイッチを使ってみよう！

スイッチで広がるコミュニケーション

たくさんのスイッチを用意、ひと工夫して一人ひとりに合った物を作り、コミュニケーション機器、PCを動かしてみよう。※希望者に会場と同じスイッチとPCを自宅へ郵送、配信を見ながら体験出来ます。



3 アプリを使って伝えてみよう！

iPadを使ったコミュニケーションアプリの体験会

発話の難しい子が「指伝話」を使って、コミュニケーションのきっかけ作りを体験します。



4 自宅、施設からPCで会場に参加・対戦！

オンライン参加の子と会場の子も達が真剣勝負!!! 応援し合おう!!!

オンラインで会場の電動ボッチャなどを操作し対戦！ イベントに向けてのオンライン練習会もあります。



会場で



5 会場を見てみよう！ 応援し合おう！

会場スポーツプログラムを見てみよう！ 応援しよう！ 次は会場で会いましょう！



オンライン チャレンジスポーツ！

動画で、写真で、みんなの応援を子ども達に届けよう！

応援メッセージ

オンラインで、感染症対策のため、病気のため在宅の障がい児を応援しよう！



【ルールは一つ】

在宅の子ども達の手元にあるテニスボールと
同じボールを使って応援メッセージ動画を撮ること！！！！



在宅の子ども達が同じボールを持ちながら応援メッセージ動画、パフォーマンスを見る、
見ながら同じようにボールを動かすことにより、
パフォーマー、会場と一体感を感じ「あそこに行ってみんなと一緒に遊びたい」と
在宅の子ども達の感染症収束後、治療後の「一つの目標、希望」になれば、と考えています。